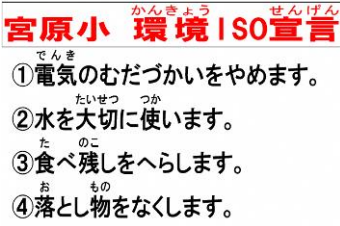




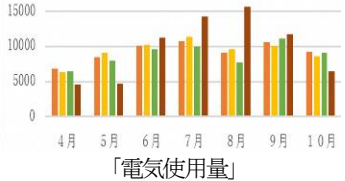
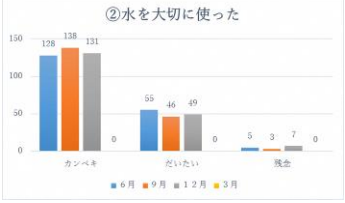


令和2年度（2020年度）学校版環境ISOへの取組
 < 氷川町立宮原小学校 >

1 取組の概要

| 項目 | 活動の様子（写真） | 取組の実際 |
|-----|--|--|
| 宣言 |  <p>宮原小 環境ISO宣言</p> <p>①電気のむだづかいをやめます。 ②水を大切に使います。 ③食べ残しをへらします。 ④落とし物をなくします。</p> | <p><児童> ○電気のむだづかいをやめます。 ○水を大切に使います。 ○食べ残しを減らします。 ○落とし物をなくします。</p> <p><職員> ○自然に親しむ子どもを育てます。 ○ゴミを減らします。 ○省エネルギーに努めます。</p> |
| 行動 |     | <p>○自然に親しむ子どもを育てるために、①森林や河川について学ばせる ②学校行事・教科等の中で親しませる ③農業等に関する体験活動を行う等の取組を行った。</p> <p>○PTAが協力し、正門周辺や学校玄関に花を植えるなど、花いっぱいの学校にするための取組を行った。</p> <p>○5年生は、地域の方の田んぼを借り「米づくり」に取組、稲の観察や、鎌を使つての稲刈り体験を行った。また、校区内を流れる二級河川「氷川」に行き、水の流れの働きに関する学習を行った。</p> <p>○高学年児童を中心に、朝の登校後の時間を利用して、校内の草取りや清掃活動などをボランティア活動として行ってきた。</p> <p>○低学年児童は、ミニトマトやジャガイモなどの野菜栽培を行った。1年生はチューリップを、2年生はパンジーを1人1鉢育てている。</p> <p>○保健委員会では、毎月15日を「ノーテレビ・ノーゲームデー」とし近隣中学校やPTAと協力して一斉に取り組んでいる。自分が選んだコースに取組、テレビやゲームの時間を減らし、家族と会話の時間を増やすよう取り組んだ。</p> <p>○給食委員会では、残食チェックを行い、食への興味や食物を大事にする意識を高めた。</p> <p>○環境委員会では、そうじチェックや、大掃除ウィークとして重点的に掃除をする場所を指定する取組を行った。</p> <p>○印刷室に紙の再利用を促す裏紙コーナーを設置したり、ゴミの分別収集コーナーを設置したりした。紙類の資源物の分別を3種類設置した。学期末など、職員への啓発を促した。</p> <p>○省エネルギー対策として、使っていない部屋の消灯やエアコンの設定温度を変えるなど、節電に努めた。</p> |
| 記録 |  <p>「電気使用量」</p> | <p>○節電と節水取組の成果がわかるように、電気使用量と水道使用量をグラフ化した。</p> <p>○宣言項目について、「エコ活動振り返りカード」を用い、子どもたちが振り返りを行った。</p> |
| 見直し |  <p>「エコ活動振り返り」</p> | <p>○子どもの「エコ活動振り返り」より、水を大切に使おうという意識が高いことが分かった。節電、身の回りの整理整頓への意識が低いことから、啓発が必要である。</p> <p>○本年度より、全教室にエアコンが導入されたこと、自校給食がなくなったことから、水の使用量・電気使用量ともに、昨年度と大きな差が出た。本年度を基準年として、これから経年比較を行っていく。</p> |

2 成果と課題

| 成 果 | 課 題 |
|--|--|
| <p>○各委員会のできるエコ活動啓発、掃除や身の回りの整理整頓に取り組んだことで、一年を通し、学校全体として取り組むことができた。</p> <p>○校務分掌の環境教育の中に「落とし物担当」を置き、どんな落とし物があるのか職員や子どもに提示することで、落とし物が少しずつ減ってきた。</p> | <p>○職員の意識を高めるためにも、「エコ活動振り返りカード」を職員も取り組むようにする。</p> <p>○ごみを減らすという意識がまだ不十分である。資源ごみ置き場の整理や、ごみの減量についての意識啓発が必要である。</p> |